

新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み

一般質問の実施を取りやめました



11月定例会開会后、市内において新型コロナウイルスの感染者が多数発生し、市職員の中にも感染者が発生するなど、市内で感染のさらなる拡大が懸念される状況となっていることを受け、市当局が新型コロナウイルス感染症対応に追われている状況や、今後、濃厚接触者の判定等により、登庁できなくなる職員が出てくる可能性なども考慮した結果、12月7日、8日に予定されていた本会議を休会としました。

このような状況に鑑み、予定していた一般質問について、発言通告をしていた議員16人全員が通告を取り下げました。しかしながら、一般質問は、議員活動の要であり、年末年始の対応など緊急に市当局の取組を質す必要性の高いものも含まれていることから、沼津市議会として、市当局に対し、要望のあった一部議員の質問に対する回答を文書質問形式で求めることとしました。

ここでは、全議員の発言通告の内容と、文書質問形式とした8人の議員の質問と市当局からの回答についてお知らせします。

なお、今回、市当局の回答を求めない議員の質問は、次回定例会以降、再度質問を行うこともあります。

発言通告一覧（16人の通告内容）

村木 豊

1 臨時休校時の小中学校の対応について

- (1) 家庭学習教材の配付及び学習状況の把握
- (2) 形を変えて開催した小中学校卒業式の評価
- (3) 児童生徒の安否確認結果とその評価
- (4) 児童生徒の学習の遅れに対する認識と対策
- (5) 沼津寺子屋開催事業と地域の取組に対する評価

2 GIGAスクール構想の本市の対応について

- (1) 学習端末の運用方法
- (2) 学習端末を利用したICT教育の目標
- (3) 学習端末を特別支援分野で活用する考え
- (4) ICT教育を担う教職員のスキルアップ計画
- (5) ICT教育を支えるために学校を支援する体制
- (6) 本市所有の文化資源をデジタル化する考え

浅田 美重子

1 持続可能な図書館運営について

- (1) 休館後の利用者の状況と、コロナ禍での図書館機能維持の取組
- (2) 電子書籍導入の効果と課題
- (3) 学校図書館等との連携
- (4) 多様化したサービスに応じた職員の資質向上策



◀令和3年1月にサービスが開始されたぬまづ電子図書館

2 「主体的・対話的で深い学び」を推進するための取組について

- (1) 特別な配慮を必要とする児童生徒に係る理解啓発の推進
 - ① 小中学校における理解啓発活動の現状とその課題
 - ② 青少年教育センター、教職員研修センターでの取組
- (2) 学力・学習状況調査について
 - ① 学力・学習状況調査の実施状況と課題
 - ② 学力と非認知能力向上のための取組
 - ③ 新形式の学力・学習状況調査の導入

霞 恵介

1 教育行政について

- (1) 入院療養時の学習支援について
 - ① 院内学級（病弱・身体虚弱特別支援学級）の設置医療機関と在籍人数
 - ② 対象児童生徒の入級の条件と入級学年の範囲
 - ③ 入院療養時の学習支援の現状と今後の具体的な取組
- (2) 発達障害児支援について
 - ① 小中学校における早期発見・早期対応への取組と幼稚園・保育園との連携及び現状
 - ② 増加傾向にある発達障害児への教育施策
 - ③ 小中学校間の特別支援教育コーディネーターの連携

2 新生児聴覚スクリーニング事業について

- (1) 新生児聴覚検査について
 - ① 本市の検査実施状況（出生数・受診者数）と未受診の理由と保護者への対応
 - ② 受診率向上へ向けた取組と受診費用への対策
 - ③ 要再検児の保護者への支援・指導



◀新生児聴覚スクリーニング検査の様子